

2026年3月期 決算短信〔日本基準〕(連結)

2026年5月13日

上場会社名 デンカ株式会社 上場取引所 東
 コード番号 4061 URL <https://www.denka.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 石田 郁雄
 問合せ先責任者 (役職名) コーポレートコミュニケーション部長 (氏名) 山本 浩之 (TEL) 03(5290)5511
 定時株主総会開催予定日 2026年6月19日 配当支払開始予定日 2026年6月22日
 有価証券報告書提出予定日 2026年6月17日
 決算補足説明資料作成の有無 : 有
 決算説明会開催の有無 : 有 (証券アナリスト、機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2026年3月期の連結業績(2025年4月1日～2026年3月31日)

(1) 連結経営成績 (%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期	384,247	△4.0	26,225	82.0	19,295	153.1	15,695	—
2025年3月期	400,251	2.8	14,413	7.7	7,623	39.3	△12,300	—

(注) 包括利益 2026年3月期 19,143百万円(—%) 2025年3月期 △7,089百万円(—%)

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後1株当たり当期純利益	自己資本当期純利益率	総資産経常利益率	売上高営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2026年3月期	182.10	—	5.2	2.9	6.8
2025年3月期	△142.73	—	△4.1	1.2	3.6

(参考) 持分法投資損益 2026年3月期 1,700百万円 2025年3月期 1,983百万円

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2026年3月期	681,006	338,826	45.6	3,604.53
2025年3月期	655,524	308,296	45.2	3,436.95

(参考) 自己資本 2026年3月期 310,709百万円 2025年3月期 296,181百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動によるキャッシュ・フロー	投資活動によるキャッシュ・フロー	財務活動によるキャッシュ・フロー	現金及び現金同等物期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2026年3月期	36,154	△45,021	7,603	35,270
2025年3月期	18,620	△59,586	40,118	37,002

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額(合計)	配当性向(連結)	純資産配当率(連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2025年3月期	—	50.00	—	50.00	100.00	8,627	—	2.9
2026年3月期	—	50.00	—	50.00	100.00	8,626	54.9	2.8
2027年3月期(予想)	—	50.00	—	50.00	100.00		53.9	

3. 2027年3月期の連結業績予想(2026年4月1日～2027年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	210,000	6.8	12,000	23.2	7,000	3.1	0	△100	0.00
通期	450,000	17.1	30,000	14.4	20,000	3.7	16,000	1.9	185.67

※ 注記事項

(1) 期中における連結範囲の重要な変更 : 有
 新規 3社(社名) 東洋スチレン株式会社、除外 1社(社名)
 Flowers株式会社
 株式会社カイノス

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2026年3月期	88,555,840株	2025年3月期	88,555,840株
② 期末自己株式数	2026年3月期	2,356,126株	2025年3月期	2,380,123株
③ 期中平均株式数	2026年3月期	86,192,997株	2025年3月期	86,176,487株

(参考) 個別業績の概要

1. 2026年3月期の個別業績(2025年4月1日~2026年3月31日)

(1) 個別経営成績 (%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期	300,421	△2.7	12,814	341.1	9,056	142.7	3,550	—
2025年3月期	308,715	1.7	2,904	△35.0	3,730	59.5	△11,110	—

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期	41.19	—
2025年3月期	△128.92	—

(2) 個別財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2026年3月期	493,116	193,865	39.3	2,249.03
2025年3月期	502,602	197,105	39.2	2,287.25

(参考) 自己資本 2026年3月期 193,865百万円 2025年3月期 197,105百万円

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定および業績予想のご利用にあたっての注意事項等につきましては、添付資料5ページ「1. 経営成績等の概況(4) 今後の見通し」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	4
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	4
(4) 今後の見通し	5
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	5
3. 連結財務諸表及び主な注記	6
(1) 連結貸借対照表	6
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	8
(3) 連結株主資本等変動計算書	10
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	12
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	13
(継続企業の前提に関する注記)	13
(セグメント情報等)	14
(1株当たり情報)	20

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

(当期の経営成績)

当期のわが国経済は、個人消費や設備投資に持ち直しの動きがみられるなど、景気は緩やかな回復に向かいました。世界経済は、全体としては持ち直しましたが、米国の通商政策の動向や中東情勢の緊迫化などにより、先行きは不透明な状況にあります。

このような状況下、当社グループは、2023年度にスタートした8カ年の経営計画「Mission2030」に掲げる「事業価値創造」、「人財価値創造」、「経営価値創造」の3つの成長戦略にもとづく施策を推進し、業容の拡大と収益の確保に注力いたしました。

この結果、当期の業績は、電子・先端製品の販売数量が増加しましたが、原燃料価格の下落に応じた販売価格の見直しなどによる手取り減があり、売上高は3,842億47百万円と前年同期に比べ160億3百万円(4.0%)の減収となりました。収益面では、営業利益は262億25百万円(前年同期比118億11百万円増、82.0%増益)となり、経常利益は192億95百万円(前年同期比116億71百万円増、153.1%増益)となりました。親会社株主に帰属する当期純利益は、期限を定めず暫定停止している米国の子会社デンカパフォーマンスエラストマー社に関わる特別損失を計上した一方で、特別利益として大船工場の工場用地の譲渡益や政策保有株式の売却益を計上したことから、156億95百万円(前年同期は123億円の損失)となりました。

<電子・先端プロダクツ部門>

当部門の製品は、AI関連や電力インフラ向けの需要が拡大しました。球状シリカ、球状アルミナの販売は、AI向け半導体等の需要拡大に伴い、好調に推移しました。高機能フィルムも電子部品向けの需要が緩やかに回復し増収となりました。また、アセチレンブラックの販売は、xEV向けは前年を下回りましたが、高圧ケーブル向けが前年を上回り、全体で増収となりました。このほか、高信頼性放熱プレート“アルシンク”は、電鉄向けの需要回復や直流通電向けの需要増加により増収となり、新製品である低誘電有機絶縁樹脂“スネクトン”の販売も順調に伸ばしました。

この結果、当部門の売上高は1,044億30百万円(前年同期比122億27百万円(13.3%)増収)となり、営業利益は138億86百万円と前年同期に比べ47億17百万円(51.5%)の増益となりました。

<ライフイノベーション部門>

POCT検査試薬は、インフルエンザや新型コロナウイルスなどの感染症は一定程度流行しましたが、年明け以降、急速に収束し検査数が減少したことから、全体では販売数量が前年を下回りました。また、その他の検査試薬の販売は、一部海外向けの不調もあり、前年を下回りました。このほか、インフルエンザワクチンは計画通りの出荷となりました。

この結果、当部門の売上高は405億20百万円(前年同期比27億42百万円(6.3%)減収)となり、営業利益は62億47百万円と前年同期に比べ33億54百万円(34.9%)の減益となりました。

<エラストマー・インフラソリューション部門>

クロロブレンゴムの需要は引き続き低調に推移しましたが、高コストである米国子会社の製造設備を暫定停止しており収益性は改善しました。このほか、農業・土木用途向けのコルゲート管の販売は増収となりましたが、特殊混和材の販売は工事遅れなどの影響により前年を下回りました。

この結果、当部門の売上高は975億83百万円(前年同期比140億90百万円(12.6%)減収)となり、営業利益は68百万円と前年同期に比べ80億30百万円の増益(前年同期は営業損失79億62百万円)となりました。

<ポリマーソリューション部門>

当部門の各製品は、原燃料価格の下落に応じて販売価格の見直しを行いました。AS・ABS樹脂やスチレンモノマーの出荷は前年を上回りましたが、デンカシンガポール社のMS樹脂は前年を下回りました。このほか、食品包材用シートおよびその加工品の販売は、需要回復が遅れており、前年を下回りました。

この結果、当部門の売上高は1,241億61百万円(前年同期比112億4百万円(8.3%)減収)となり、営業利益は35億74百万円と前年同期に比べ24億20百万円(209.8%)の増益となりました。

<その他部門>

YKアクロス株式会社等の商社は取扱高が概ね前年並みとなりました。

この結果、当部門の売上高は175億52百万円（前年同期比1億94百万円（1.1%）減収）となり、営業利益は24億27百万円と前年同期に比べ31百万円（1.3%）の増益となりました。

(2) 当期の財政状態の概況

当連結会計年度末の総資産は、前連結会計年度末に比べ254億82百万円増加の6,810億6百万円となりました。

流動資産は、棚卸資産の減少などにより前連結会計年度末に比べ103億79百万円減少の2,600億75百万円となりました。固定資産は有形固定資産の増加などにより、前連結会計年度末に比べ358億61百万円増加の4,209億30百万円となりました。

負債は、工事未払金の減少などにより、前連結会計年度末に比べ50億47百万円減少の3,421億80百万円となりました。

非支配株主持分を含めた純資産は前連結会計年度末に比べ305億30百万円増加の3,388億26百万円となりました。

以上の結果、自己資本比率は前連結会計年度末の45.2%から45.6%となり、1株当たり純資産は3,436円95銭から3,604円53銭となりました。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度末における現金及び現金同等物は、352億70百万円となり、前連結会計年度末と比べ17億32百万円の減少となりました。なお、当連結会計年度におけるキャッシュ・フローの状況は以下のとおりです。

営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前当期純利益が増加したことなどにより、361億54百万円の収入となりました。

投資活動によるキャッシュ・フローは、設備投資の支払いなどにより、450億21百万円の支出となりました。

財務活動によるキャッシュ・フローは、借入金の増加などにより、76億3百万円の収入となりました。

(参考) キャッシュ・フロー指標のトレンド

	2022年3月期	2023年3月期	2024年3月期	2025年3月期	2026年3月期
自己資本比率(%)	51.7	50.1	49.9	45.2	45.6
時価ベースの自己資本比率(%)	52.6	39.8	32.8	28.1	44.7
キャッシュ・フロー対有利子負債比率(年)	3.2	19.0	4.8	11.7	6.1
インタレスト・カバレッジ・レシオ(倍)	45.4	8.1	21.7	8.9	17.7

自己資本比率 : 自己資本/総資産

時価ベースの自己資本比率 : 株式時価総額/総資産

キャッシュ・フロー対有利子負債比率 : 有利子負債/営業キャッシュ・フロー

インタレスト・カバレッジ・レシオ : 営業キャッシュ・フロー/利払い

(注1)いずれも連結ベースの財務数値により計算しております。

(注2)株式時価総額は自己株式を除く発行済株式数をベースに計算しております。

(注3)有利子負債は、連結貸借対照表に計上されている負債のうち利子を支払っている全ての負債を対象としております。

(4) 今後の見通し

2026年度は、世界的なA Iや半導体、電力インフラ関連の強い需要が全体を牽引する一方で、中東情勢緊迫化による石油由来原料の調達難が当社の事業に一定の影響を与える見通しです。このため、業績予想の前提は、原料調達は上期中は支障が生じ10月以降に通常に回復する、原料価格は年度内は高止まりするという前提としております。

この結果、売上高は4,500億円となり、営業利益は300億円と前連結会計年度からの増益を見込みます。また、経常利益は200億円、親会社株主に帰属する当期純利益は160億円と予想しております。

なお、2026年度の連結業績予想につきましては、本日開示した「2025年度(2026年3月期)決算説明会資料」もあわせて参照ください。

〔2026年度通期連結業績予想〕

・売上高	4,500億円 (前年比 17.1%増)
・営業利益	300億円 (前年比 14.4%増)
・経常利益	200億円 (前年比 3.7%増)
・親会社株主に帰属する当期純利益	160億円 (前年比 1.9%増)
・配当金	年100.00円/株

〔通期連結業績予想の前提条件〕

- ・国産ナフサ価格 123,250円/k1
- ・為替レート 158円/US\$

〔セグメント別業績予想〕

(単位：億円)

連結売上高・営業利益 (予想)		2026年度 第2四半期予想	2026年度 通期予想
電子・先端プロダクツ	売上高	500	1,100
	営業利益	40	130
ライフインノベーション	売上高	200	450
	営業利益	30	60
エラストマー・ インフラソリューション	売上高	500	1,050
	営業利益	40	70
ポリマーソリューション	売上高	800	1,700
	営業利益	0	20
その他・消去	売上高	100	200
	営業利益	10	20
合計	売上高	2,100	4,500
	営業利益	120	300

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、企業間及び経年での比較可能性を確保するため、日本基準で連結財務諸表を作成しております。

なお、当社グループは、将来における国際会計基準の適用に備え、国際会計基準の知識の習得、日本基準とのギャップ分析、導入における影響度調査等の取組みを実施しており、国内外の諸情勢を考慮の上、適切に対応していく方針であります。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当連結会計年度 (2026年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	37,002	35,270
受取手形、売掛金及び契約資産	88,035	88,299
商品及び製品	89,988	84,661
仕掛品	6,565	7,235
原材料及び貯蔵品	33,951	35,500
その他	15,175	9,367
貸倒引当金	△262	△258
流動資産合計	270,455	260,075
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	85,794	87,304
機械装置及び運搬具（純額）	99,494	106,783
工具、器具及び備品（純額）	5,239	5,264
土地	63,674	61,412
リース資産（純額）	3,823	3,424
建設仮勘定	54,942	78,997
有形固定資産合計	312,969	343,187
無形固定資産		
のれん	10	2,246
特許権	396	264
ソフトウェア	1,828	1,701
その他	861	841
無形固定資産合計	3,097	5,053
投資その他の資産		
投資有価証券	48,702	47,463
長期貸付金	87	980
退職給付に係る資産	4,316	9,032
繰延税金資産	9,988	6,822
その他	5,985	8,670
貸倒引当金	△77	△278
投資その他の資産合計	69,002	72,690
固定資産合計	385,069	420,930
資産合計	655,524	681,006

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当連結会計年度 (2026年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	48,023	43,005
短期借入金	74,679	51,797
コマーシャル・ペーパー	33,000	20,000
1年内返済予定の長期借入金	—	150
1年内償還予定の社債	15,000	15,000
未払法人税等	2,321	7,520
未払消費税等	262	491
賞与引当金	2,909	3,647
その他	54,304	43,484
流動負債合計	230,501	185,096
固定負債		
社債	15,000	10,000
長期借入金	80,000	124,766
繰延税金負債	3,777	5,341
再評価に係る繰延税金負債	8,613	8,524
退職給付に係る負債	2,506	1,895
株式給付引当金	145	141
その他	6,684	6,414
固定負債合計	116,727	157,083
負債合計	347,228	342,180
純資産の部		
株主資本		
資本金	36,998	36,998
資本剰余金	49,412	49,415
利益剰余金	167,074	174,127
自己株式	△7,786	△7,716
株主資本合計	245,698	252,825
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	12,062	14,258
繰延ヘッジ損益	△56	760
土地再評価差額金	10,161	10,176
為替換算調整勘定	26,104	26,934
退職給付に係る調整累計額	2,210	5,752
その他の包括利益累計額合計	50,483	57,883
非支配株主持分	12,114	28,117
純資産合計	308,296	338,826
負債純資産合計	655,524	681,006

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書

連結損益計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)	当連結会計年度 (自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)
売上高	400,251	384,247
売上原価	315,655	289,991
売上総利益	84,595	94,256
販売費及び一般管理費	70,182	68,030
営業利益	14,413	26,225
営業外収益		
受取利息	549	328
受取配当金	812	1,312
持分法による投資利益	1,983	1,700
為替差益	—	543
その他	880	672
営業外収益合計	4,226	4,557
営業外費用		
支払利息	2,093	2,104
固定資産処分損	2,543	1,872
操業休止等経費	3,416	3,358
為替差損	599	—
その他	2,362	4,152
営業外費用合計	11,016	11,487
経常利益	7,623	19,295
特別利益		
投資有価証券売却益	367	12,623
固定資産売却益	—	8,188
負ののれん発生益	—	6,517
その他	—	721
特別利益合計	367	28,050
特別損失		
減損損失	16,111	—
事業整理損	7,852	21,112
関係会社株式評価損	1,110	—
段階取得に係る差損	—	4,875
特別損失合計	25,074	25,987
税金等調整前当期純利益又は 税金等調整前当期純損失(△)	△17,083	21,357
法人税、住民税及び事業税	2,995	8,048
法人税等調整額	△3,022	2,057
法人税等合計	△26	10,105
当期純利益又は当期純損失(△)	△17,056	11,252
非支配株主に帰属する当期純損失(△)	△4,756	△4,443
親会社株主に帰属する当期純利益又は 親会社株主に帰属する当期純損失(△)	△12,300	15,695

連結包括利益計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)	当連結会計年度 (自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)
当期純利益又は当期純損失 (△)	△17,056	11,252
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△2,712	1,422
繰延ヘッジ損益	△557	530
土地再評価差額金	△246	—
為替換算調整勘定	10,587	1,204
退職給付に係る調整額	2,177	3,541
持分法適用会社に対する持分相当額	717	1,192
その他の包括利益合計	9,966	7,891
包括利益	△7,089	19,143
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	△3,161	23,081
非支配株主に係る包括利益	△3,928	△3,937

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)

(単位:百万円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	36,998	49,405	187,574	△7,785	266,192
会計方針の変更による 累積的影響額			△435		△435
会計方針の変更を反映し た当期首残高	36,998	49,405	187,138	△7,785	265,757
当期変動額					
剰余金の配当			△7,764		△7,764
親会社株主に帰属する 当期純損失(△)			△12,300		△12,300
非支配株主との取引に 係る親会社の持分変動		16			16
連結子会社株式の売却 による持分の増減		△8			△8
自己株式の取得				△5	△5
自己株式の処分		△0	△0	4	4
土地再評価差額金の取 崩			0		0
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)					—
当期変動額合計	—	7	△20,064	△0	△20,058
当期末残高	36,998	49,412	167,074	△7,786	245,698

	その他の包括利益累計額						非支配株主 持分	純資産合計
	その他有価証 券 評価差額金	繰延ヘッジ損 益	土地再評価 差額金	為替換算 調整勘定	退職給付に係 る 調整累計額	その他の包括 利益累計額合 計		
当期首残高	14,257	△34	10,407	16,680	33	41,344	9,377	316,915
会計方針の変更による 累積的影響額						—		△435
会計方針の変更を反映し た当期首残高	14,257	△34	10,407	16,680	33	41,344	9,377	316,479
当期変動額								
剰余金の配当						—		△7,764
親会社株主に帰属する 当期純損失(△)						—		△12,300
非支配株主との取引に 係る親会社の持分変動						—		16
連結子会社株式の売却 による持分の増減						—		△8
自己株式の取得						—		△5
自己株式の処分						—		4
土地再評価差額金の取 崩						—		0
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)	△2,195	△22	△246	9,424	2,177	9,138	2,736	11,874
当期変動額合計	△2,195	△22	△246	9,424	2,177	9,138	2,736	△8,183
当期末残高	12,062	△56	10,161	26,104	2,210	50,483	12,114	308,296

当連結会計年度(自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)

(単位:百万円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	36,998	49,412	167,074	△7,786	245,698
当期変動額					
剰余金の配当			△8,627		△8,627
親会社株主に帰属する当期純利益			15,695		15,695
非支配株主との取引に係る親会社の持分変動		2			2
自己株式の取得				△6	△6
自己株式の処分				77	77
土地再評価差額金の取崩			△15		△15
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					-
当期変動額合計	-	2	7,053	70	7,126
当期末残高	36,998	49,415	174,127	△7,716	252,825

	その他の包括利益累計額						非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券評価差額金	繰延ヘッジ損益	土地再評価差額金	為替換算調整勘定	退職給付に係る調整累計額	その他の包括利益累計額合計		
当期首残高	12,062	△56	10,161	26,104	2,210	50,483	12,114	308,296
当期変動額								
剰余金の配当						-		△8,627
親会社株主に帰属する当期純利益						-		15,695
非支配株主との取引に係る親会社の持分変動						-		2
自己株式の取得						-		△6
自己株式の処分						-		77
土地再評価差額金の取崩						-		△15
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	2,195	817	15	830	3,541	7,400	16,002	23,403
当期変動額合計	2,195	817	15	830	3,541	7,400	16,002	30,530
当期末残高	14,258	760	10,176	26,934	5,752	57,883	28,117	338,826

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)	当連結会計年度 (自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益又は 税金等調整前当期純損失(△)	△17,083	21,357
減価償却費	27,820	29,156
のれん償却額	37	9
賞与引当金の増減額(△は減少)	△26	468
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	166	△29
貸倒引当金の増減額(△は減少)	6	189
受取利息及び受取配当金	△1,362	△1,640
支払利息	2,093	2,104
持分法による投資損益(△は益)	△1,983	△1,700
投資有価証券評価損益(△は益)	1,110	38
投資有価証券売却損益(△は益)	△367	△12,621
固定資産除売却損益(△は益)	422	△6,819
事業整理損	5,986	1,170
減損損失	16,111	—
売上債権の増減額(△は増加)	10,416	2,503
棚卸資産の増減額(△は増加)	△9,456	14,116
仕入債務の増減額(△は減少)	△7,812	△10,903
その他	△2,787	1,460
小計	23,291	38,860
利息及び配当金の受取額	2,522	2,044
利息の支払額	△2,097	△2,037
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	△5,096	△2,712
営業活動によるキャッシュ・フロー	18,620	36,154
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△58,752	△67,166
有形固定資産の売却による収入	3	11,343
無形固定資産の取得による支出	△1,078	△480
投資有価証券の取得による支出	△870	△412
投資有価証券の売却による収入	1,471	13,599
子会社株式の売却による収入	715	410
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による収入	—	282
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	—	△3,192
その他	△1,074	594
投資活動によるキャッシュ・フロー	△59,586	△45,021
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	53,647	△36,027
長期借入れによる収入	—	43,579
長期借入金の返済による支出	△5,000	—
社債の発行による収入	—	10,000
社債の償還による支出	△7,000	△15,000
自己株式の取得による支出	△5	△6
連結財務諸表提出会社による配当金の支払額	△7,764	△8,627
非支配株主への配当金の支払額	△161	△152
非支配株主からの払込みによる収入	6,956	14,213
その他	△554	△375
財務活動によるキャッシュ・フロー	40,118	7,603
現金及び現金同等物に係る換算差額	2,464	△470
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	1,616	△1,732
現金及び現金同等物の期首残高	35,386	37,002
現金及び現金同等物の期末残高	37,002	35,270

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

a. セグメント情報

1. 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定および業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループでは、市場に密着した製品展開を図るべく、分野別に4つの部門をおき、国内および海外の事業戦略等を立案し事業展開を行っており、経済的特徴や製品の性質・サービスの内容等が概ね類似しているものを集約した「電子・先端プロダクツ」、「ライフイノベーション」、「エラストマー・インフラソリューション」、および「ポリマーソリューション」を報告セグメントとしております。

各報告セグメントの主要製品は、次のとおりであります。

報告セグメント	主要製品
電子・先端プロダクツ	電子包装材料、ファインセラミックス、溶融シリカ、アセチレンブラック、電子回路基板、産業用テープ ほか
ライフイノベーション	ワクチン、診断薬、がん治療ウイルス製剤 ほか
エラストマー・インフラソリューション	クロロプレンゴム、セメント、特殊混和材、肥料、カーバイド、耐火物、環境資材 ほか
ポリマーソリューション	スチレンモノマー、ポリスチレン樹脂、ABS樹脂、クリアレン、耐熱・透明樹脂、ポパール、合繊かつら用原糸、食品包装材料 ほか

2. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、連結財務諸表を作成するために採用される会計方針に準拠した方法であります。セグメント間の内部収益及び振替高は市場実勢価格に基づいております。

3. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産その他の項目の金額に関する情報

前連結会計年度(自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他 事業 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	連結 財務諸表 計上額 (注) 3
	電子・先 端プロダ クツ	ライフイ ノベーション	エラスト マー・イ ンフラソ リユース ション	ポリマー ソリューション	計				
売上高									
外部顧客への 売上高	92,203	43,262	111,673	135,365	382,505	17,746	400,251	—	400,251
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	—	—	16	66	82	3,865	3,948	(3,948)	—
計	92,203	43,262	111,690	135,432	382,588	21,611	404,199	(3,948)	400,251
セグメント利益 又は損失(△)	9,168	9,602	△7,962	1,154	11,962	2,395	14,358	55	14,413
セグメント資産	230,862	60,174	158,633	110,715	560,386	50,557	610,943	44,580	655,524
その他の項目									
減価償却費	9,595	3,471	9,159	5,182	27,408	504	27,913	(93)	27,820
有形固定資産 及び無形固定 資産の増加額	40,860	10,613	11,681	6,004	69,159	71	69,231	(58)	69,173

(注) 1. 「その他事業」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、プラントエンジニアリング事業、商社事業等を含んでおります。

2. セグメント資産の調整額は、セグメント間消去の額および全社資産の額であり、全社資産の主なものは親会社の金融資産(現金および預金、投資有価証券)および管理部門に係る資産の額であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当連結会計年度(自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他 事業 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	連結 財務諸表 計上額 (注) 3
	電子・先 端プロダ クツ	ライフイ ノベーション	エラスト マー・イ ンフラソ リューション	ポリマー ソリューション	計				
売上高									
外部顧客への 売上高	104,430	40,520	97,583	124,161	366,695	17,552	384,247	—	384,247
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	7	—	281	75	365	3,960	4,325	(4,325)	—
計	104,438	40,520	97,864	124,237	367,060	21,512	388,573	(4,325)	384,247
セグメント利益	13,886	6,247	68	3,574	23,777	2,427	26,204	20	26,225
セグメント資産	255,642	72,288	145,514	119,647	593,092	48,842	641,935	39,071	681,006
その他の項目									
減価償却費	11,180	4,178	8,282	5,175	28,817	439	29,256	(100)	29,156
有形固定資産 及び無形固定 資産の増加額	37,947	2,050	11,125	5,019	56,143	28	56,171	(69)	56,101

- (注) 1. 「その他事業」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、プラントエンジニアリング事業、商社事業等を含んでおります。
2. セグメント資産の調整額は、セグメント間消去の額および全社資産の額であり、全社資産の主なものは親会社の金融資産(現金および預金、投資有価証券)および管理部門に係る資産の額であります。
3. セグメント利益は、連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

b. 関連情報

前連結会計年度（自 2024年4月1日 至 2025年3月31日）

1. 製品及びサービスごとの情報

製品及びサービスの区分が報告セグメント区分と同一であるため、記載を省略しております。

2. 地域ごとの情報

(1) 売上高

(単位：百万円)

	日本	海外			合計
		アジア	その他	計	
売上高	221,661	114,406	64,184	178,590	400,251
連結売上高に占める割合(%)	55.4	28.6	16.0	44.6	100.0

(注) 売上高は顧客の所在地を基礎とし、国又は地域に分類しております。

(2) 有形固定資産

(単位：百万円)

	日本	海外			合計
		アジア	その他	計	
有形固定資産	247,909	64,591	467	65,059	312,969

3. 主要な顧客ごとの情報

連結損益計算書の売上高の10%を超える特定の外部顧客がないため、記載を省略しております。

当連結会計年度（自 2025年4月1日 至 2026年3月31日）

1. 製品及びサービスごとの情報

製品及びサービスの区分が報告セグメント区分と同一であるため、記載を省略しております。

2. 地域ごとの情報

(1) 売上高

(単位：百万円)

	日本	海外			合計
		アジア	その他	計	
売上高	214,341	105,999	63,906	169,906	384,247
連結売上高に占める割合(%)	55.8	27.6	16.6	44.2	100.0

(注) 売上高は顧客の所在地を基礎とし、国又は地域に分類しております。

(2) 有形固定資産

(単位：百万円)

	日本	海外			合計
		アジア	その他	計	
有形固定資産	253,534	89,275	376	89,652	343,187

3. 主要な顧客ごとの情報

連結損益計算書の売上高の10%を超える特定の外部顧客がないため、記載を省略しております。

c. 報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報

前連結会計年度(自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他事業	合計	調整額	連結 財務諸表 計上額
	電子・先端 プロダク ツ	ライフイ ノベーション ション	エラスト マー・イ ンフラン ソリューション ション	ポリマー ソリューション ション	計				
当期償却額	—	—	37	—	37	—	37	—	37
当期末残高	—	—	10	—	10	—	10	—	10

当連結会計年度(自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他事業	合計	調整額	連結 財務諸表 計上額
	電子・先端 プロダク ツ	ライフイ ノベーション ション	エラスト マー・イ ンフラン ソリューション ション	ポリマー ソリューション ション	計				
当期償却額	—	—	9	—	9	—	9	—	9
当期末残高	—	2,246	—	—	2,246	—	2,246	—	2,246

d. 報告セグメントごとの負ののれん発生益に関する情報

前連結会計年度(自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)

該当事項はありません。

当連結会計年度(自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)

「ポリマーソリューション」セグメントにおいて、東洋スチレン株式会社の株式を追加取得し連結子会社としたことに伴い、負ののれん発生益6,517百万円を特別利益に計上しております。

(1株当たり情報)

前連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)		当連結会計年度 (自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)	
1株当たり純資産額	3,436円95銭	1株当たり純資産額	3,604円53銭
1株当たり当期純損失	142円73銭	1株当たり当期純利益	182円10銭
潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、1株当たり当期純損失であり、また、潜在株式が存在しないため記載していません。		潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式が存在しないため記載していません。	

- (注) 1. 1株当たり純資産額の算定上、株式給付信託が所有する当社株式を、期末発行済株式総数から控除する自己株式に含めております。
また、1株当たり当期純利益又は1株当たり純損失の算定上、期中平均株式数の計算において控除する自己株式に含めております。
2. 1株当たり当期純利益又は1株あたり純損失の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)	当連結会計年度 (自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)
1株当たり当期純利益又は1株当たり純損失		
親会社株主に帰属する当期純利益又は 親会社株主に帰属する当期純損失(△)(百万円)	△12,300	15,695
普通株主に帰属しない金額(百万円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する 当期純利益又は親会社株主に帰属する 当期純損失(△)(百万円)	△12,300	15,695
期中平均株式数(株)	86,176,487	86,192,997